

第1回大野市都市マスタープラン改訂委員会の会議結果の概要

日時 令和2年7月14日(火)

午後6時30分～

場所 結とびあ(大野有終会館)

302号室

1 委嘱状交付

2 市長あいさつ

都市マスタープランは都市計画法に基づく計画であり、市町村が都市計画の分野での基本的な方針を記載するものである。現計画は平成23年に定めたものであり、10年が経過する時期を捉えて改訂するものである。

大野市第六次総合計画の基本構想をまとめる中で、市の将来像を「人がつながり 地域がつながる 住み続けたい結のまち」と掲げた。今後の10年の姿を検討するにあたっては、SDGsの考え方を取り入れながらの地域づくりや歩きやすいまち「ウォークアブルシティ」、人口減少に対応するために空き家や空き地の有効活用といった発想を取り入れていきたい。委員の皆さんのご意見を聞きながらまちづくりの方針を作り上げていきたい。

3 委員長、副委員長の選出

4 協議事項

- ・大野市都市マスタープランの改訂について
- ・大野市都市マスタープラン改訂スケジュール(案)について
- ・市民意向調査(アンケート)(案)について

} 資料に基づき説明。

【委員のみなさんの主な意見】

- 市民からアンケートで意見を集めるにあたり、改訂の趣旨について説明が必要。一般の人が回答したくなるような丁寧な説明が欲しい。
- アンケートは無作為で抽出する一方で、高校生や子育て世代などの団体を対象に行うこととしているが、どこに焦点があるのかぼやけてしまうのではないか。
- インターチェンジの設問に関して、勝原、下山と、貝皿とでは利用のされ方などが違うため、設問をわけたほうが良い。
- インターチェンジの設問に関して、実際に狙っているターゲットが中京方面なのか福井方面なのかを明らかにして、インターチェンジ周辺の活用を問うべき。

- アンケートの集計方法について、コンパクトプラスネットワークの考え方を取り込んでいくために、地区別での集計もしっかりとやってほしい。
- このアンケートが改訂のキーになることから、アンケートの質問の仕方について、より答えやすい内容とするため、設問の中に進めていきたい方向を示すなど丁寧な説明が必要。

5 その他

6 閉会